

1 宮城県内の水産物の放射能測定結果について

- 1 測定年月日 平成26年2月21日～平成26年3月4日
- 2 測定分析機関 宮城県，（公財）海洋生物環境研究所，（一財）日本食品分析センター，（一財）宮城県公衆衛生協会，いであ（株），（一財）日本冷凍食品検査協会，（株）総合水研究所，（株）静環検査センター。
- 3 測定結果

宮城県内で平成26年2月18日から平成26年2月28日に採取したマガキ（養殖），ワカメ（養殖），ノリ（養殖）などの水産物74検体について，放射能を測定した結果，すべての検査品目について，基準値を下回り，安全性に問題のないことが確認されました。

2 管内の復興に向けた動き

○水産加工品の販路拡大に向けた研修会が開催されました

・3月3日（月）マリンゲート塩釜において「ちょっと気の利いた研修会」と題した研修会が開催されました。

この研修会は，県が水産加工品の販路拡大のお手伝いの一環として，県内水産加工業のデータベースを作成しており，その内容を「サカナップみやぎ」というサイトで4月に公開する予定であることから，商品のPR等の対応について学ぶため開催されたものです。

当日は，バイヤーズ・ガイド編集部の永瀬正彦氏から「流通に乗せるための基礎知識・販路開拓の実践」，（株）電通プロモーション事業局の金井毅氏及び（株）ライズの大津至久氏から「売るためにできること～商品のストーリーブランディング」と題して講演が行われ，参加者は，流通・販売の実務経験が豊富な講師の話に熱心に耳を傾けていました。



研修会の様子

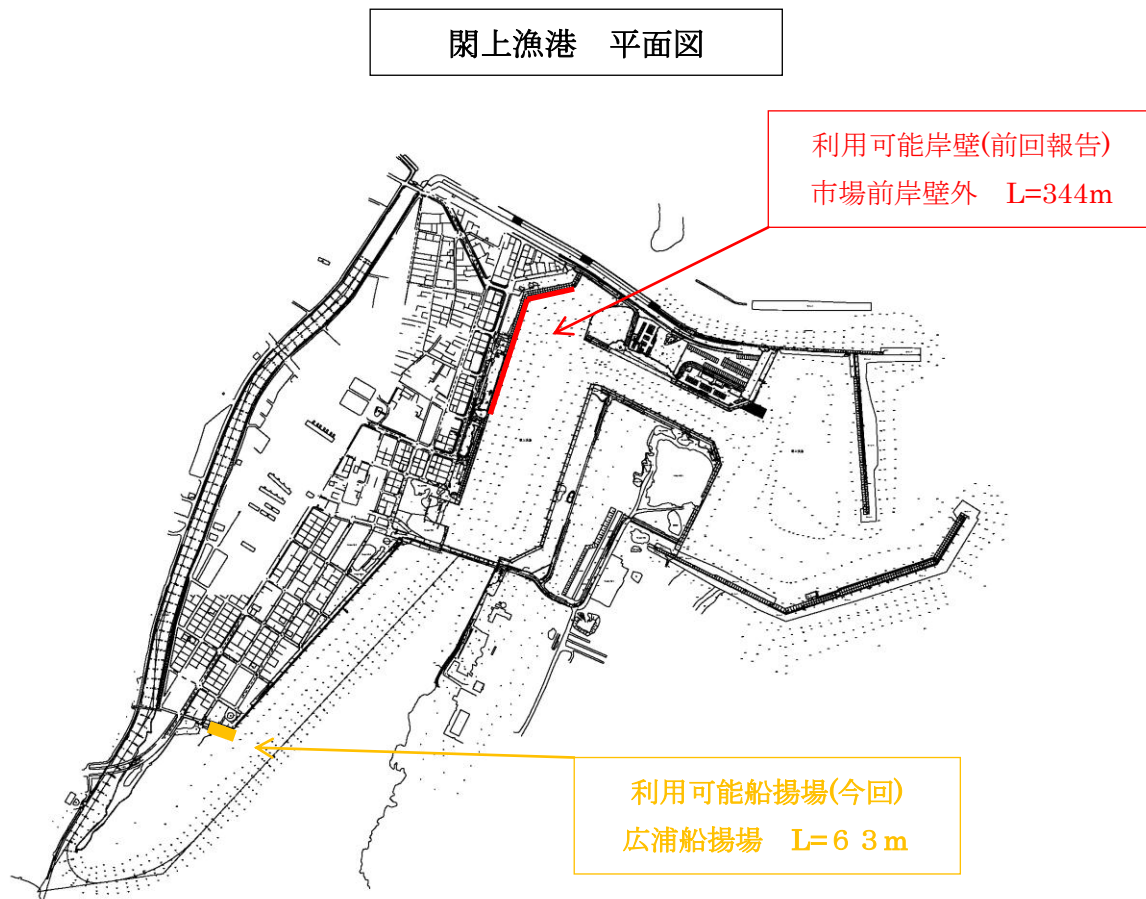


同 左

○関上漁港の復旧状況について（その3）

・名取市の関上漁港は、平成24年度より本格的な復旧工事を進めております。この度、市場前の岸壁（復興ニュース第136報で報告。）に引き続き広浦船揚場（L=63m）が今回利用可能となりましたので、お知らせします。

今後とも、計画的に各施設の復旧工事を行って参りますので、関係者の方々にはご迷惑をおかけしますが、引き続き協力をお願いします。



広浦船揚場（工事着手前）



広浦船揚場（完成後 L=63m）